

Zero Carbon City Scenario

狛江市 ゼロカーボンシティシナリオを策定しました



狛江市では、深刻さを増す気候変動の影響を抑え、持続可能な地球環境を守るため、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロに取り組む「ゼロカーボンシティ」を目指すことを表明しました（令和3年3月）。

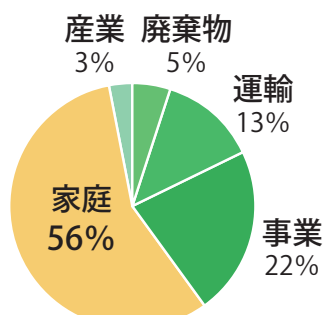
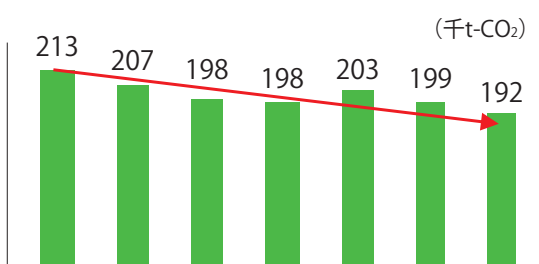
この度、ゼロカーボンシティの実現に向けた道筋として、必要な目標・取組を示す「狛江市ゼロカーボンシティシナリオ」を策定したので、ポイントをご紹介します。

ポイント1 狛江市の現状

狛江市から排出される温室効果ガスは、2019年度192千t-CO₂で、2013年度から約10%減少しています。

狛江市から排出される温室効果ガスの90%以上は二酸化炭素(CO₂)であり、その半分以上(56%)が家庭から排出されています。

温室効果ガスは、電気やガスなどのエネルギーの消費により発生します。狛江市のエネルギー使用量は2019年度1,973TJで、2013年度の2,122TJから149TJ減少しています。



狛江市のCO₂排出元の内訳
※端数処理により合計値に誤差があります

ポイント2 活用できる再生可能エネルギー

気候変動は、温室効果ガスによる地球温暖化が大きな要因と考えられています。

温室効果ガスは、人がエネルギーを使うことで排出されることから、気候変動の影響を抑えるためには、**エネルギーの省力化(省エネ)**と、CO₂を排出しない**再生可能エネルギー(再エネ)**の導入を進めることが重要となります。

再エネは、水力、風力などさまざまな種類がありますが、現状、狛江市で最も多く導入できる再エネ利用は**太陽光発電**です。

市における2050年度までの太陽光発電の導入・利用可能量は、349TJとなっていますが、現在の導入量は約4%にとどまっており、今後、さらなる導入の余地があります。



市で導入可能な再エネ利用

太陽光発電	349TJ
地中熱利用	160TJ
その他	35TJ
合計	543TJ*

※端数処理により合計値に誤差があります

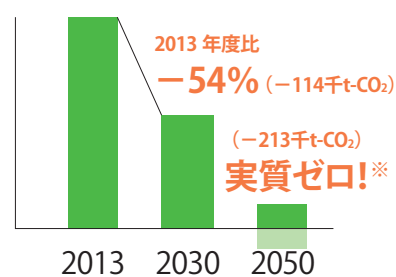
ポイント3 二酸化炭素排出削減量等の目標

2050年のゼロカーボンシティを達成するためには、市内全域で2030年度に2013年度と比較して、**54% (114千t-CO₂)**のCO₂排出削減が必要です。

この排出削減を達成するためには、省エネ・再エネの導入をさらに進

めていく必要があります。

また併せて、国などが行う大きな取組の効果も考え、市の取組で目指す削減量の目標を以下のとおりとしました。



市内全域の目標削減量

※削減しきれなかったCO₂排出量は、市外の森林整備等により得られるCO₂吸収量と相殺するカーボンオフセットの仕組みを活用し、排出実質ゼロを目指します。

また、狛江市と同様に世界や国、東京都などでも CO₂ 排出実質ゼロが目指されています。

国(政府)	「2050年カーボンニュートラル」を宣言
東京都	2050年に「ゼロエミッション東京」実現を宣言
世界(国連)	今世紀半ばのカーボンニュートラルを各国に求める

2030年度

市の取組による目標削減量 **16千t-CO₂** (2013年度比-7%)
再エネ導入量 **90TJ**

2050年度

市の取組による目標削減量 **45千t-CO₂** (2013年度比-21%)
再エネ導入量 **543TJ**

ポイント4 必要な取組

左記の各目標を達成するためには、各分野で以下のような取組を進めていく必要があります。

1 民生(家庭・業務)部門

- 補助事業の拡充等による省エネ・再エネ設備導入の加速化、ZEH/ZEB導入促進、再エネ電力契約への切替促進 等

2 運輸部門

- 補助事業、インフラ整備等による次世代自動車の導入促進
- 公共交通機関としてグリーンスローモビリティの導入検討 等

3 廃棄物部門

- ごみ削減に向けた4Rのさらなる普及促進
- プラスチック類ごみの分別収集の適正実施 等

3P参照

4 市役所における取組

- 公共施設への再エネ電力の導入拡充
- 庁用車の次世代自動車(電気自動車等)への転換促進 等

5 分野横断的な取組

- 多摩川を活用した小水力発電や水素利用の検討等による、再生可能エネルギーの導入ポテンシャルの掘り起こし
- 市内の特定区域で省エネ・再エネ導入の徹底を図るモデルエリアの選定 等

【用語解説】

- ◇**地中熱利用** 地中の熱エネルギーを取り出し、冷暖房や給湯等に利用すること。現状ではコスト面、技術面から導入が困難。
- ◇**ZEH/ZEB(ゼッチ/ゼブ)** 快適な室内環境を実現しながら建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを旨とした住宅(ZEH)やビル(ZEB)のこと。
- ◇**グリーンスローモビリティ** 時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両を含めた総称のこと。
- ◇**4R(よんアール)** ごみの減量に有効とされるRefuse(発生回避)、Reduce(排出抑制)、Reuse(再使用)、Recycle(再生利用)の行動のこと。
- ◇**小水力発電** 河川の流速や水位差による水圧を利用してタービンを回す発電方式のこと。出力1,000~10,000kw程度のものを小水力発電という。
- ◇**水素利用** 多様な資源からつくり出すことが可能な水素をエネルギーとして利用すること。燃焼時にはCO₂を排出しない。